



別府小学校で恒例の門松づくり
■12月20日、別府小学校で毎年恒例の門松づくりが行われました。子どもたちや保護者、先生、地域の皆さんが協力し、見事な門松が設置されました。



年末火災予防特別警戒出発式
■12月25日、市消防本部において、年末火災予防特別警戒出発式が行われました。期間中、市内商業施設で街頭キャンペーンを実施し、年末の火災予防を呼びかけました。



亀沢公民館と中央分団が火の用心を呼びかけ
■12月26日、亀沢公民館の育成会と中央分団が合同で、年末の火災予防に関する広報活動を実施しました。育成会の児童生徒や保護者、中央分団の団員など約30名が亀沢地区を中心に回り「火の用心、戸締り用心」を呼びかけました。



火の神蒸溜所ビジターセンターがオープン
■1月15日、薩摩酒造株式会社が運営する「火の神蒸溜所」内に、ウイスキーの魅力を感じられる特別な拠点として開設されました。施設では、無響室でのウイスキーのテイasting体験などが行えます。



100歳の誕生日を迎えました ～小湊チルさん、竹内サチエさん

1月4日までに、2名の方が100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。
① 小湊チルさん (塩屋北町・12月15日)
枕崎市出身の小湊さんは、3人の子どもに恵まれ、若い頃は農業をしており、麦や、から芋を育てていました。また、かつお節行商もしていました。趣味は家庭菜園とグラウンドゴルフで、長生きの秘訣は「体を動かすこととよく食べることです」と話します。
② 竹内サチエさん (寿町・1月4日)
南さつま市坊津町出身の竹内さんは、4人の子どもに恵まれ、若い頃は魚の水揚げをしていました。趣味は畑仕事と料理をすることで、長生きの秘訣は「よく食べることです」と話します。
皆さん、これからも元気で長生きしてください。



枕崎へようこそ! ～今年も市営野球場で清潭高校野球部が冬季合宿

韓国の清潭高校野球部約50名が1月11日から2月13日までの間、今年で4回目となる冬季合宿を行っています。清潭高校野球部は、韓国でもトップクラスの実力で、韓国プロ野球にも多数の選手を輩出する強豪校です。1月14日、市営野球場で歓迎セレモニーを開催し、本市や市内各団体から、激励に大将季やかつおパック、勝男武士カレーなどを贈呈しました。今年も、今回の清潭高校を皮切りに、国内の大学野球部が多数合宿を行う予定です。(関連10ページ)



地域と学ぶ電照菊の収穫体験 ～地元の菊農家と取り組む体験学習

12月18日、立神小学校の5年生が、校内の農業用ハウスで、枕崎市大塚周年菊研究会に所属する菊農家と一緒に育てた電照菊の収穫体験を行いました。子どもたちは9月に定植作業を体験し、その後も日々の水やりなどを続けながら、菊の成長を見守ってきました。当日は、農家の方から収穫の方法について説明を受け、丁寧に菊を収穫していました。枕崎市大塚周年菊研究会代表の楠拓郎さんは「花育をテーマに取り組み、子どもたちに地元の産業を知ってもらいたいと考えました。大人になっても花を大切に育てる気持ちを忘れずにいてほしい」と話しました。



二十歳の門出、希望を胸に新たなスタート ～令和8年枕崎市二十歳のつどい

1月3日、市民会館において二十歳のつどいが行われ、今年度二十歳を迎えた147名が出席し、二十歳の門出を祝いました。会場では旧友との久しぶりの再会に、あちこちで喜びの声が上がり、記念撮影をする姿が見られました。第1部では、市長の式辞や来賓祝辞、二十歳を代表して桑原らさんが二十歳の決意発表を行いました。その後、社会人の先輩から激励のことがあったほか、実行委員が作成した動画の放映に、出席者は懐かしそうな表情で見入っていました。第2部では、焼酎や果樹、かつお節などの枕崎の特産品が当たる抽選会が行われ、会場は盛り上がっていました。



高齢者から子どもたちへ伝える地域の味 ～別府校区で伝統の「そまんずし作り」

12月20日、別府地区公民館で別府校区の年末の伝統行事「そまんずし作り」が行われ、小学生や中学生、保護者、高齢者など135名が参加しました。「そまんずし」は、そば(そま)が入った雑炊(ずし)のような郷土料理で、そばの栽培が盛んな別府校区では、昔から各家庭で親しまれてきました。小学生はそば打ち、中学生は野菜を切る役割を担当し、高齢者の方々に教わりながら調理を進めました。完成したそまんずしは、地域ごとに分けて、笑顔でおいしく味わいました。行事を通して、温かく賑やかな世代間交流のひとつとなりました。